

【第1号議案】(報告事項)

平成26年度事業報告に関する件 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

I. 事業の状況

一般社団法人への移行後の4年目として、金武直幸会長のもと、昨年に引き続き、当会のプレゼンス向上の種々取組を実施した。すなわち、活動基盤を従来の軽金属素材製造メーカーに加えて二次加工分野および材料ユーザーまで拡大し、軽金属の上流から下流までを網羅できる学会として社会に認められるよう体制整備を進めた。二次加工業界の多くを占める中堅企業の技術開発を支援する「中堅企業 R&D 支援プログラム」として、各支部においては無料講習会・セミナー、研修会、支部企業奨励賞授与などの行事を行った。維持会員向けの WEB 相談室開設、軽金属セミナーDVDの無料貸出を行い、会員サービス向上による会員基盤増強を実施した。また、春秋講演大会においても、ユーザー企業参加促進策として企業交流会、日本アルミニウム協会賞受賞企業の招待講演等を実施した。学会誌「軽金属」では「私の一枚」、「維持会員紹介」、「学会便り」、「支部便り」などの論文・解説以外の記事充実を図り、会員、ユーザー企業に学会活動状況、会員企業紹介など情報発信を行った。また、研究部会では6部会の研究終了に伴い、3部会の研究部会報告書を発行した。また、新規研究部会設置の検討をWGで行い、13部会の新設を準備し、次年度は16部会で研究活動を実施予定である。国際交流事業として、ALMA(Asian Light Metals Association) Forum 2014 & Meetingを国内開催し、中国、韓国、台湾、オーストラリアから10名の研究者を招き、アジア各国との軽金属に関する研究、人的交流を実施した。また、4年ぶりに海外著名教授を招いた第10回軽金属国際ワークショップを開催した。

なお、公益目的支出計画(3ヶ年計画)は1年間延長し、本年度に完了し、平成27年6月に内閣府に完了確認申請により移行完了となる。

[1] 研究会、学術講演会等の開催(定款第4条第1項第1号)

1. 春秋講演大会の開催

1) 第126回春期大会

会期 : 平成26年5月17日(土)、18日(日)
会場 : 広島大学東広島キャンパス
実行委員長 : 佐々木 元 (広島大学)
定時総会 : 平成26年5月17日(土)
研究発表講演 : 平成26年5月17日(土)、18日(日) 134件発表
ポスターセッション : 平成26年5月17日(土) 34件発表
表彰式 : 平成26年5月17日(土)
懇親会 : 平成26年5月17日(土)(大学内生協)
見学会 : 平成26年5月16日(金) 日本製鋼所、呉市海事歴史科学館大和ミュージアム 39名参加
機器・カタログ展示 : 平成26年5月17日(土)、18日(日) 8社参加
企業交流会 : 平成26年5月17日(土)、18日(日) 7社参加

2) 第127回秋期大会

会期 : 平成26年11月15日(土)、16日(日)
会場 : 東京工業大学大岡山キャンパス
実行委員長 : 熊井真次(東京工業大学)
研究発表講演 : 平成26年11月15日(土)、16日(日) 200件発表
ポスターセッション : 平成26年11月15日(土) 40件発表
表彰式 : 平成26年11月15日(土)
懇親会 : 平成26年11月15日(土)(小山台会館)
機器・カタログ展示 : 平成26年11月15日(土)、16日(日) 5社参加
企業交流会 : 平成26年11月15日(土)、16日(日) 11社参加

2. シンポジウム、セミナー等の開催

	名 称	開催日	開催場所	参加者数
1	第92回シンポジウム「電子顕微鏡による材料研究」～組成分析と材料評価の現状～	平成26年6月5日	日本大学 駿河台キャンパス	36名
2	軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織－入門編(状態図と組織)」第1回	平成26年7月4日	早稲田大学 西早稲田キャンパス	44名
3	軽金属基礎技術講座「アルミニウムの製造技術」	平成26年9月4日、5日	ヤマハリゾートつま恋	36名
4	軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織－入門編(状態図と組織)」第2回	平成26年12月4日	早稲田大学 西早稲田キャンパス	29名
5	第93回シンポジウム「アルミニウム陽極酸化の最前線」	平成27年2月10日	千葉工業大学 津田沼キャンパス	33名

[2] 国内外における研究協力・連携の推進(定款第4条第1項第2号)

1. 国際交流

1) ALMA (Asian Light Metals Association)

平成26年11月14日(金)に、中国、韓国、台湾、オーストラリアから10名の研究者を招き、公益財団法人小山台教育財団「小山台会館」にて開催した。一般参加者17名を含め50名が参加した。

(1) ALMA Forum 2014

日本、韓国、台湾、オーストラリアから8名の軽金属材料に関する研究開発事例報告があった。

(2) ALMA Meeting

次回2016年東京開催、Forumの規模・内容、平成24年10月に開設したALMAホームページの利用方法について協議した。

2) 第10回軽金属国際ワークショップ

平成27年3月4日(水)に、英国サウサンプトン大学 Ian Sinclair 教授を招き、東京工業大学にて開催した。講演題目は“The application of computed tomography to data rich analysis of composite materials and other multi-disciplinary research topics”で、20名が参加した。

3) 台湾軽金属協会来日対応

台湾軽金属協会から要請があり、平成27年5月の軽金属学会表敬訪問、国内アルミニウム製造企業3社の工場見学を企画した。

2. 産学官の連携

経済産業省非鉄金属課長井上幹邦様に第127回秋期大会懇親会にご臨席、ご挨拶賜り、当学会役員との意見交換を行った。また、参与会を2回開催し、三菱アルミニウム(株)鋳造工場の飲料缶リサイクル工場、(株)総合車両製作所本社・横浜事業所の鉄道車両製作工程の見学を通じて、産学官の密接な連携のもとに、軽金属の将来に対する意見交換を行い、ユーザー側からの助言を得た。

3. 日本アルミニウム協会との連携

日本アルミニウム協会の主催により開催された産学懇談会に出席し、情報交換を行った。日本アルミニウム協会の研究助成事業の約30件の研究の大部分を講演大会で成果発表していただいた。今後の新規アルミニウム需要拡大が期待される研究3件については会誌で解説として公開した。また、日本アルミニウム協会賞受賞企業5社を第127回秋期大会「企業交流会」に招き、受賞技術の講演、製品展示いただき、会員との交流を深めた。

4. 他学術団体、業界団体との連携

日本学術会議材料工学連絡委員会、日本工学会等と連携を保つとともに、日本金属学会、日本鋳造工学会、日本鉄鋼協会、日本塑性加工学会、日本材料学会など、他学協会との研究発表、シンポジウムの共催、協賛、後援などの協力を積極的に行った。溶接学会の若手会員の会、日本鉄鋼協会の若手フォーラムと合同で若手研究者・技術者講演会「金属材料加工シンポジウム」の開催(平成27年6月19日)を計画した。また、これまで実施していなかった講演大会の協賛を第128回春期大会からの開始を決め、協賛学協会からの会員価格での参加を可能とし、交流促進を図ることとした。

[3] 学会誌、学術図書等の刊行(定款第4条第1項第3号)

1. 会誌「軽金属」等の編集発行

本年度は、Vol.64 No.4~12、Vol.65 No.1~3までの12冊を、うち、Vol.64 No.11は特集号「3D/4D イメージング応用技術の最前線」として刊行した。掲載内容の分類は以下のとおりである。

区分	編数	区分	編数	区分	編数
巻頭言	2	連載講座	8	支部編集特集	26
研究論文	39	新製品・新技術紹介	0	はぐくむ	2
研究ノート	2	随想	8	研究部会紹介	4
解説	18	LMコラム	8	学会便り	15
LMレビュー	3	研究室／研究所紹介	1	支部便り	14
技術報告	0	国際会議便り	5	私の一枚	12
				掲載総数	167

2. 研究部会報告書の発行

今期終了した6研究部会のうち、3部会の部会報告書を発行した。他の3部会は平成27年度上期に発行予定。

No.	名 称	発行日
60	アルミニウム中の水素研究部会報告書 「アルミニウム中の水素量の分析技術」	平成27年3月31日
61	新機能発現化学プロセス部会報告書 「非水電解浴中のアルミニウムめっきに関する調査報告」	平成27年3月31日
62	アルミニウム合金圧延材の組織形成予測部会報告書 「アルミニウム合金圧延材の組織形成予測」	平成27年3月31日

3. その他刊行物

名 称	発行日
アルミニウムの組織と性質(USBメモリー)	平成 26 年 4 月 1 日
第 126 回春期大会講演概要集	平成 26 年 4 月 17 日
第 92 回シンポジウム「電子顕微鏡による材料研究」組成分析と材料評価の現状	平成 26 年 6 月 5 日
第 127 回秋期大会講演概要集	平成 26 年 10 月 15 日
第 93 回シンポジウム「アルミニウム陽極酸化の最前線」	平成 27 年 2 月 10 日

[4] 研究及び調査の実施(定款第 4 条第 1 項第 4 号)

研究部会は、前年度より継続の 9 つの部会が活発な研究事業を実施した。また会誌や WEB 上に研究部会活動紹介を 8 月に掲載完了し、部会活動の見える化を図った。平成 26 年度末終了の研究部会は研究部会成果報告書の作成と並行して、春秋講演大会でのテーマセッションや報告会を実施した。さらに、次の研究部会立上げを目指し、プロセス関係(鑄造、圧延、押出)と利用技術関係(トライボロジー、接合、腐食、表面処理)、材料関係(マグネシウム、チタン、新素材・複合材料)の研究課題抽出 WG を立上げ、新たに 13 の研究部会を新設し、継続の 3 研究部会を加えて、H27 年度は合計 16 の研究部会が研究活動を実施予定。平成 27 年度の 16 研究部会を下表に示す。

No.	研究部会名	No.	研究部会名
1	成形性評価シミュレーションに関する技術開発部会(継続)	9	異種材料接合・界面研究部会
2	加工と熱処理による優先方位制御研究部会(継続)	10	チタンの準安定相・析出相研究部会
3	ミュオンスピン緩和スペクトル法の応用研究部会(継続)	11	多機能性材料研究部会
4	押出組織制御予測技術研究部会	12	超音波鑄造研究部会
5	アルミニウム板圧延における表面欠陥研究部会	13	異種金属接合部の腐食挙動予測研究部会
6	新エネルギー向け表面処理研究部会	14	汎用型高性能マグネシウム合金研究部会
7	水素と力学特性研究部会	15	冷間/熱間加工工程における組織形成予測部会
8	アルミニウムの凝固・微細化・清浄化研究部会	16	アルミニウムのトライボロジー研究部会

平成 26 年度の 9 研究部会の活動成果概要を下表に示す。

No.	部会名	課題	研究成果概要
1	高機能押出加工技術研究部会 【開催期間】 平成 22 年 9 月 -平成 27 年 3 月末(1 年延長し終了)	押出型材の表面欠陥の抑制など従来の押出加工技術の向上と時代の要請に対応した機能的な押出加工技術の創成を行う。	4 回(平成 26 年 6 月 27 日、10 月 2 日、平成 27 年 1 月 28 日、3 月 10 日)の研究部会を開催。 押出材表面の形成メカニズムや 7000 系アルミニウム合金押出時のダイスの亜鉛脆化メカニズムとコーティングによる脆化防止を検討した。 1)押出材表面の形成に関する研究 ・第 13 回(6 月 27 日)、第 14 回(10 月 2 日)部会にて、6061 押出材の表面性状に及ぼすピレット温度及びダイスコーティング(TiAlN ほか)の影響等について調査した。 2)7000 系合金による Zn 脆性に関する研究 ・第 13 回、第 14 回、第 15 回部会にて 7000 系合金押出におけるダイスの亜鉛脆化の対策を目的とし、アルミニウム合金中の亜鉛が及ぼす影響並びに疲労寿命に及ぼすコーティングの影響等について調査した。押出用金型材料(鋼材)に関する勉強会も開催した。 3)平成 27 年 3 月 10 日に部会最終報告会を開催した。報告は下記 3 件。 ①7000 系アルミニウム合金の押出加工シミュレーションに対するダイス摩擦状態の影響 ②7000 系押出金型の疲労限界に及ぼす亜鉛拡散の影響 ③A6061 合金押出材の表面性状形成メカニズムに関する考察 4)平成 27 年 9 月までに、部会報告書の取りまとめを予定している。

2	<p>アルミニウム圧延における生産性研究部会</p> <p>【開催期間】 平成23年7月-平成27年3月末(終了)</p>	<p>アルミニウム板圧延の、特に生産性の向上について、意見交換・検討を行いながら、技術レベルの向上を図る。</p>	<p>7回(平成26年4月25日、6月6日、7月18日、9月19日、12月19日、平成27年1月30日、3月6日)の研究部会を開催。</p> <p>各社7工場の見学を終了し、生産性と稼働率の定義(一般的な生産性向上手段)、基本的な各社圧延機の構成(スラブやコイル、スプールの動きについて)、生産性及び稼働率向上事例について部会報告書をまとめることとした。次期部会検討を圧延WGで実施し、「現場寄りの生産技術者を中心とした活動」を継続し、圧延板の表面欠陥を扱うこととした。組織形成予測部会と後継部会を議論し、圧延部会メンバーも参画する部会立ち上げを決定した。両部会の合同報告会を平成27年4月に開催予定。部会報告書は5月に発行予定。</p> <p>1)第13回 三菱アルミニウム(株) 2)第14回 (株)UACJ名古屋製造所 3)第15回 日本アルミニウム協会会議室 4)第16回 (株)神戸製鋼所名古屋支社 5)第17回 日本アルミニウム協会会議室 6)第18回 日本軽金属(株)名古屋工場 7)第19回 日本アルミニウム協会会議室</p>
3	<p>新機能発現・化学プロセス部会</p> <p>【開催期間】 平成23年6月-平成27年3月末(終了)</p>	<p>化学反応に関わるプロセスを取りあげ議論する。表面処理、腐食、精錬、リサイクル等の30年後を見据えた情報交換の場とする。</p>	<p>7回(平成26年4月28日、5月17日、7月25日、9月17日、12月10日、平成27年1月21日、3月6日)の研究部会を開催。平成26年11月14日には工学院大学において、部会報告会を開催した。また、非イオン性溶媒(イオン液体含む)を用いたアルミニウムめっきに関する4年間の下記活動成果をまとめ、部会報告書を作成した。表面処理に関する後継部会設置も実施した。</p> <p>①技術動向 技術調査WG、特許調査WG ②各種性能の評価結果 試験評価検討WG ③研究部会報告会の開催(平成26年11月)、部会報告書</p> <p>1)第14回 YKK(株)立山 ・部会内WG活動(特許調査、技術情報調査、試験評価)の内容検討。</p> <p>2)第15回 軽金属学会春期大会・広島大学 ・部会内WG活動報告と検討</p> <p>3)第16回 日本アルミニウム協会 ・特許調査WG 検索キーワード+IPC分類による検索式のトライアンドエラーを完了。 ・技術情報調査WG 文献取り寄せ完了し技術動向レビューに取りまとめ開始。 ・試験評価WG ジメチルスルホンからの電析アルミニウムめっき膜の評価中(密着性、含有成分、結晶化、硬さ、耐食性、化成処理性、電気化学的特性等)。</p> <p>4)第17回 日本アルミニウム協会 ・部会報告会の内容の検討</p> <p>5)第18回 日本アルミニウム協会 ・部会報告書内容の検討</p> <p>6)第19回 日本アルミニウム協会 ・部会報告書内容の検討</p> <p>7)第20回 日本アルミニウム協会 ・部会報告書ゲラの配布 ・後継部会「新エネルギー向け表面処理研究部会」検討</p>
4	<p>成形性評価シミュレーション技術開発部会</p> <p>【開催期間】 平成23年6月-平成28年3月末(1年延長)</p>	<p>アルミニウム合金の成形性評価に必要な基礎データの整備と充実を図る。</p>	<p>3回(平成26年6月27日、10月17日、平成27年2月20日)の研究部会を開催。</p> <p>結晶塑性有限要素法による成形シミュレーション高精度化技術の検討、不均質有限要素法による成形シミュレーションの精度向上技術の検討、解析ソフトによる成形予測相違の検証、成形パラメータのデータベース化推進を実施し、材料モデルとして二軸引張および二軸バルジ試験の適用により、シミュレーションの精度向上技術を確立した。</p> <p>部会を1年間延長して、さらに、不均質有限要素法や結晶塑性有限要素法(フェーズフィールド法)の適用を進め、より一層のシミュレーションの精度向上を目指す。会誌平成27年11月号に特集を組み、論文等をまとめた成果報告書の作成を行う予定。実用化に向けた将来への課題抽出(実用レベルでの予測技術の可能性見極め)を行い、新部会の発足検討を計画。</p> <p>1)第11回 ①二軸応力下における5000系アルミニウム合金板の変形特性</p>

			<p>②A5182-O 合金板の成形性と不均質性</p> <p>③均質化結晶塑性有限要素法による A5182-O アルミニウム合金板の二軸引張変形挙動解析</p> <p>④各社金型成形による成形品のシミュレーション結果</p> <p>⑤軽圧各社基礎成形評価用金型による成形試験とシミュレーションの整合調査</p> <p>⑥第 127 回秋期大会テーマセッション講演内容</p> <p>2)第 12 回</p> <p>①引張圧縮組合せ試験を考慮した成形シミュレーション</p> <p>②球頭張出試験とシミュレーションの相関検討</p> <p>③均質化結晶塑性有限要素法によるアルミニウム合金板の数値二軸引張試験</p> <p>④A5182 アルミニウム合金板の塑性変形にともなう不均質性の発達</p> <p>⑤球頭金型張出試験解析</p> <p>⑥球頭張出成形解析結果</p> <p>⑦A5182-O 材の φ100 球頭張出試験のシミュレーション結果</p> <p>⑧球頭張出の成形解析 使用ソフトの違い</p> <p>3)第 13 回</p> <p>①穴拡げ成形シミュレーション</p> <p>②均質化結晶塑性有限要素法によるシミュレーション精度向上</p> <p>③成形解析条件統一化による解析評価結果</p> <p>④使用ソフトの違いによる成形解析への影響調査</p> <p>⑤軽金属・特集号に関する論文執筆、成果報告書執筆</p> <p>⑥次々年度 研究部会に関する討議</p> <p>4) 第 127 回秋期大会においてテーマセッション（成形シミュレーションの高精度化技術・成果報告会）を開催。基調講演 2 件を含め、8 件発表。</p>
5	<p>アルミニウム合金圧延材の組織形成予測部会</p> <p>【開催期間】平成 23 年 6 月 -平成 27 年 3 月末(終了)</p>	<p>アルミニウムの材料特性は合金成分と製造条件に左右される。材料組織形成シミュレーションを用いた特性予測が進展しており、材料データプラットフォームの構築で、わが国独自の組織形成予測技術を実現させる。</p>	<p>2 回(平成 26 年 6 月 3 日、10 月 3 日)の研究部会を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結晶塑性数値シミュレーションにおいて、A1050 および A8021 の 400℃焼鈍材の方位分布解析結果を抽出し、代表体積要素 (RVE) に 216 点の抽出結果をマッピングした。 ・上記マッピングを行った上で圧延マクロ解析を行い、圧延における変位分布、ひずみ分布変化を計算した。 ・板厚方向に並ぶ 5 要素に着目し、マクロ解析結果をミクロ解析に引き継いで結晶方位予測分布を行い、実験結果と比較検討した結果、圧延後の結晶方位分布に及ぼす解析初期条件の影響ならびに解析手法の妥当性を確認した。 ・上記結果を踏まえ、本手法を高温域での変形解析に応用する際の課題について考察した。 ・期末に上記結果を部会報告書としてまとめた。 ・次期後継部会設置を圧延部会、成形シミュレーション部会と協議し決定した。
6	<p>アルミニウム中の水素研究部会</p> <p>【開催期間】平成 23 年 6 月 -平成 27 年 3 月末(終了)</p>	<p>アルミニウム合金材料の機械的特性や表面品質に影響を及ぼす水素ガスの分析方法の高精度化と、機械的性質等に及ぼす水素ガス量の影響調査を行う。</p>	<p>2 回(平成 26 年 8 月 27 日、平成 27 年 2 月 6 日)の研究部会と 3 回(平成 26 年 7 月 10 日、10 月 14 日、平成 27 年 3 月 9 日)の力学特性 WG を開催。第 127 回秋期大会ではテーマセッションを開催し、これまでのラウンドロビンテストおよび前処理方法の検討結果など 4 件を発表した。力学特性 WG では①軽金属中の水素の基礎的研究、②水素脆性、③析出水素ポアとその影響、④応力腐食割れに関して、参加委員がそれぞれ興味のある内容を自主的に研究推進することを基本としてスタートし、来期からの部会発足のため、各社テーマを決定し、共通試料の Al-Mg 合金、Al-Zn-Mg 合金材料の準備を開始した。水素分析方法の日本アルミニウム協会規格(LIS)改定については、部会開催期間中には実施できず、特集の発刊後に日本アルミニウム協会分析委員会にあらためて依頼する予定。水素部会委員に各社内・各社分析委員会委員に情報展開を依頼する予定。年度末に部会報告書を作成し、軽金属誌平成 28 年 2 月号に水素部会関連の特集を企画した。</p>
7	<p>アルミニウム溶解炉における複合酸化物の異常生成研究部会</p>	<p>アルミニウム溶解炉・保持炉に異常生成する複合酸化物(通称オバケ)を実機炉から採取・分析調査し、その生成機構解明を図</p>	<p>4 回(平成 26 年 6 月 17 日、7 月 31 日、10 月 7 日、平成 27 年 2 月 2 日)の研究部会を開催。</p> <p>オバケ生成のラボ検証試験結果の解析、実機炉採取サンプルおよび文献調査結果を総括し、オバケの生成メカニズム解明を行った。部会報告書は平成 27 年度上期に完成予定。成果報告会も開催予定。</p> <p>1)オバケ生成再現と生成メカニズム解明</p>

	<p>【開催期間】 平成23年12月-平成27年3月末 (終了)</p>	<p>るとともに、抑制に有効な知見を得る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ラボ実証として Al_2O_3-SiO_2 系るつぼに Al-5%Mg 合金を装入し、大気中で溶解しオバケの生成再現試験を実施した。何度かの昇温・降温履歴もオバケ生成に影響を及ぼしている傾向があることが分かり、実験での着眼として、$950^{\circ}C \sim 1150^{\circ}C$ ($50^{\circ}C$ 刻み) $\times 1.5h$ 保持を繰り返すサイクル試験も盛り込んでオバケ生成挙動を観察した。その結果、るつぼにアルミニウムが浸透した箇所で小さなオバケを生成させることに成功。特に高温のものでサイクルを重ねるごとに成長していく挙動も観察され、層状に重なっていく傾向もみられた。保持温度と保持時間だけでなく、サイクルの影響も大きいことが分かるとともに、層状に成長していくことも示唆された。 ・製造条件や前処理条件は可能な限り合わせたが、るつぼによって浸透や割れにバラツキがあり、温度、時間、サイクルでの定量的なオバケ生成の条件整理までは明確にはできていない。しかし、るつぼ耐火物の状態で割れや浸透の仕方が変わり、これがオバケの発生に大きな影響を及ぼすことは確認できた。 ・ラボ実証試験で得られたオバケの分析が途上であり、分析後メカニズムの検討を行う。
8	<p>加工と熱処理による優先方位制御研究部会</p> <p>【開催期間】 平成24年4月-平成28年3月末</p>	<p>加工と熱処理による新しい集合組織制御技術の構築を目指して、実現可能な優先方位の組合せによる大幅な特性改善の可能性を見出すこと。</p>	<p>4回(平成26年6月26日、10月9-10日、11月26日、平成27年3月11日)の研究部会を開催。 下記の5つのテーマについて、グループに分かれ検討した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①優先方位評価の厳密化 ②特性改善に有効な優先方位 ③冷間および熱間加工による集合組織変化 ④再結晶集合組織に及ぼす加工・熱処理条件の影響 ⑤新プロセスによる集合組織形成と材料特性 <p>1)第9回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・③④⑤テーマについて、話題提供が5件行われ、3回にわたって行われた本部会のすべての研究機関による中間発表会が終了した。 ・部会共通テーマの「①優先方位評価の厳密化」に関して、共通試料の A1050-H 材と O 材における優先方位の体積率を XRD と EBSD の集合組織測定結果から評価し比較検討した。XRD ではフィッティング時の半値幅が、EBSD では許容誤差角度の設定が優先方位の体積率評価に重要な影響を及ぼすことが明らかとなった。 <p>2)第10回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽井沢町商工会館で日本金属学会分科会「結晶と組織の配向制御による材料高性能化研究会」と共催で公開講演会を開催した。講演数：15件、参加者：26名。 <p>3)第11回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会共通テーマ「②特性改善に有効な優先方位」を平成27年度も延長して行うことになった。 ・新メンバーの関根委員による講演「多結晶金属の変形集合組織の形成とその予測技術 - 包括的な変形集合組織予測理論とその計算アルゴリズム -」と、伊藤邦夫先生(東大名誉教授)による招待講演「アルミニウム合金板の集合組織」が行われた。 <p>4)第12回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集合組織解析技術(HelperTex Office 山田義行氏)、再結晶集合組織形成機構に関する考察(部会長井上博史)の2件講演が行われた。 ・研究テーマ進捗状況と今後の進め方について各委員から報告。 ・第129回秋期大会でのテーマセッション実施の提案があり、実施決定した。 ・③④⑤テーマ実施のため、部会を1年間延長することとした。
9	<p>ミュオンスピン緩和スペクトル法の応用研究部会</p> <p>【開催期間】 平成25年4月-平成29年3月末</p>	<p>ミュオンスピン緩和の研究手法を応用することにより、6000系アルミニウム合金中の原子空孔および Mg-Si-V クラスターの密度とその挙動、およびアルミニウム合金中での水素の挙動を解明する。</p>	<p>3回(平成26年7月4-5日、11月11日、平成27年3月3日)の研究部会を開催。 平成25年の測定データの解析結果についての検討を実施し、熱処理条件に対する本法の感受性について検討を実施して、応用範囲を把握すべく、情報の共有とデータの解釈について議論を深めた。 今年度は RAL のメンテナンス作業のためミュオン実験はできないので、J-PARC と京大 PAS 施設の利用を申請した。採択の後、具体的に試料を選定するとともに、企業側委員の参加を募る。高純度試料の作製を検討する。平成27年度は多元型実用アルミニウム合金およびそれら構造体に対する感受性について調査するとともに、陽電子寿命測定法との比較を試みる。テーマセッションの企画案作成と、および次期研究部</p>

		<p>会へのテーマ選定を行うこととした。</p> <p>1)第1回 (株)神戸製鋼所保養施設げごん荘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話題提供：茨城大・伊藤先生 ・結果報告と討議：富山大・西村先生、布村先生、(富山大・松田) ・自由討議 <p>2)第2回 日本アルミニウム協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・溶接材と水素に関する話題提供：富山大・柴柳先生 ・新規検出方法に関する話題提供：京都大・友野先生 ・クラスター計算に関する話題提供：富山大・布村先生 ・施設利用に関する話題提供：富山大・西村先生 <p>3)第3回 富山観光ホテル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近のμSR 応用例とミュオン位置計算手法開発：理研・渡邊先生 ・最近の解析結果・計算動向他：富山大・布村紀男先生 ・申請状況報告、今後の方針他：富山大・西村克彦先生、松田
--	--	---

[5] 研究の奨励及び研究業績の表彰(定款第4条第1項第5号)

1. 研究・業績の表彰

それぞれ選考委員会において選考を行い、理事会での承認を得て、(1)および(7)1)を平成26年5月開催の第126回春期大会にて、(2)~(5)および(7)2)を平成26年11月開催の第127回秋期大会にて表彰を行った。(6)については、平成27年2月末に表彰楯を各大学、高等専門学校へ送付し、卒業・修了など相応しい時機に表彰を託した。

(1)平成26年度軽金属学会賞・功労賞・功績賞表彰

前年度の軽金属学会賞・功労賞・功績賞選考委員会で選考され、理事会で承認された下記6名を表彰した。

- | | | |
|------------------|----------------|---------|
| 1)第17回軽金属学会賞 | 東北大学金属材料研究所 教授 | 新家 光雄 君 |
| 2)第16回軽金属学会特別功労賞 | 前軽金属学会 事務局長 | 大園 智哉 君 |
| " 功労賞 | (株)コイワイ 技術顧問 | 安達 充 君 |
| 3)第12回軽金属功績賞 | 宇宙航空研究開発機構 教授 | 佐藤 英一 君 |
| | 東北大学 教授 | 成島 尚之 君 |
| | 富山大学 教授 | 松田 健二 君 |

(2)平成26年度軽金属論文賞・論文新人賞

佐藤英一推薦委員長のもとで論文賞対象論文29編の内5編、新人賞対象論文8編の内3編の論文を推薦し、土田孝之選考委員長のもとで2編(7名)の論文賞、2名の新人賞を選考した。

1)論文賞

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| ①「7075合金の機械的特性と金属組織に及ぼす巨大ひずみ加工の影響」 | 第64巻6号(2014)241-248 掲載 |
| (株)豊田中央研究所 | 倉本 繁 君、堀淵 嘉代 君、
青井 一郎 君、大石 敬一郎 君 |
| ②「Al-Mg-Si合金の多段時効挙動に及ぼす予備時効温度の影響」 | 第63巻7号(2013)245-252 掲載 |
| 東京工業大学
(株)神戸製鋼所 | 高木 康夫 君、里 達雄 君、
増田 哲也 君 |

2)論文新人賞

- | | |
|---|-------------------------|
| ①「半凝固状態における引張試験を用いたAl-Mg系合金の弾粘塑性構成式の構築」 | 第63巻9号(2013)310-317 掲載 |
| 早稲田大学 | 高井 量資 君 |
| ②「Al-Mg-Si系合金の曲げ変形初期の亀裂発生および伝播に及ぼすマイクロポイドの影響」 | 第63巻12号(2013)452-457 掲載 |
| (株)UACJ | 山本 裕介 君 |

(3)第49回小山田記念賞

熊井真次委員長のもと、応募技術1件について検討の結果、当該技術1件が選考された。

- | | |
|--|-----------------|
| 「二輪車フロントフォーク用高強度アルミ合金管とスピニング加工方法の開発と実用化」 | |
| KYB(株) | 金兒 龍一 君、平野 克也 君 |
| KYB モーターサイクルサスペンション(株) | 越岡 悟史 君 |
| (株)UACJ | 加藤 勝也 君 |
| (株)UACJ 押出加工名古屋 | 箕田 正 君、中井 康博 君 |

(4)第37回高橋記念賞

高橋英徳委員長のもと、各支部からの推薦3件について選考委員による書面審査の結果、3名を選考した。

- | | |
|------------|---------|
| (株)豊田自動織機 | 加納 光弘 君 |
| (株)神戸製鋼所 | 久野 嘉文 君 |
| (株)豊田中央研究所 | 堀田 昇次 君 |

(5)軽金属奨励賞・躍進賞・女性未来賞

伊藤吾朗委員長のもと、3つの賞について審議し、奨励賞は応募4名の候補者のうち3名を、躍進賞は3名の候補者のうち3名を、女性未来賞は2名の候補者のうち1名を選考した。

- | | | |
|---------------|-------------------------------------|-------------------------------|
| 1)第32回軽金属奨励賞 | (株)UACJ
物質・材料研究機構
三菱アルミニウム(株) | 安藤 誠 君
佐々木 泰祐 君
吉野 路英 君 |
| 2)第13回軽金属躍進賞 | 名城大学
工学院大学
横浜国立大学 | 赤堀 俊和 君
阿相 英孝 君
廣澤 涉一 君 |
| 3)第6回軽金属女性未来賞 | (株)アーレスティ | 柳原 恵美 君 |

(6)平成26年度軽金属希望の星賞

各支部からの一次推薦34名について、総務委員会による二次選考の結果、33名を選考した。

所 属	氏 名	所 属	氏 名
北海道大学大学院	富田 花帆 君	日本大学大学院	谷 亮輔 君
旭川工業高等専門学校	斉藤 嵩 君	日本大学大学院	小澤 崇将 君
東北大学大学院	叢 欣 君	富山大学大学院	松岡 祐輝 君
茨城大学大学院	山田 隆一 君	金沢大学大学院	河井 竜太郎 君
茨城大学大学院	國井 健生 君	名古屋大学大学院	木村 航 君
茨城大学大学院	久保田 禎之 君	名古屋大学大学院	疋田 和樹 君
群馬大学大学院	栗原 亮典 君	豊橋技術科学大学大学院	松山 智彦 君
群馬大学大学院	圖子田 幸佑 君	大阪大学大学院	風岡 徹 君
宇都宮大学大学院	荒川 卓弥 君	京都大学大学院	吉田 貴志 君
長岡技術科学大学大学院	田中 祐輔 君	関西大学大学院	池田 貴勇 君
東京工業大学大学院	青木 拓朗 君	大阪府立大学大学院	花岡 雄大 君
東京農工大学大学院	川口 順平 君	神戸大学大学院	川 智明 君
首都大学東京大学	三ツ石 圭佑 君	広島大学大学院	武田 栄樹 君
首都大学東京大学院	佐藤 義光 君	九州大学大学院	下地 輝昭 君
長岡技術科学大学大学院	又吉 勇介 君	九州大学大学院	藤光 利茂 君
長岡技術科学大学大学院	山中 宏介 君	熊本大学大学院	山下 和輝 君
早稲田大学大学院	菅沼 光太郎 君		

(7)優秀ポスター発表賞

本賞は春秋大会で行われるポスターセッションで発表した優秀者に贈る賞で、今年度は以下の通り春期6名、秋期5名を表彰した。

1)第126回春期大会

- | | | |
|---|-------------|---------|
| ①7150 アルミニウム合金の力学的特性におよぼす水素マイクロポアの影響 | 九州大学大学院 | 佐々木勝郎 君 |
| ②Mg-Al-Ca-Mn 系合金押出材の組織および機械的性質に及ぼす RE 置換の影響 | 長岡技術科学大学大学院 | 山中 宏介 君 |
| ③ジメチルスルホン浴を用いた電析アルミニウムの作製 | 大阪府立大学大学院 | 松井 功 君 |
| ④Al-Mg-Si 合金におけるナノクラスタ形成に及ぼす Mg/Si 比および中断焼入れの影響 | 東京工業大学大学院 | 金 聖寧 君 |
| ⑤5052 アルミニウム合金/異種金属箔材の摩擦攪拌拡散接合に及ぼす接合条件の影響 | 宇都宮大学大学院 | 澤田 明典 君 |
| ⑥Ti-Zr 合金の再結晶挙動に及ぼす Zr 添加量の影響 | 長岡技術科学大学大学院 | 又吉 勇介 君 |

2)第127回秋期大会

- | | | |
|---|-------------|---------|
| ①マグネシウム基 LPSO 合金押出材における押込み荷重急変直後のクリープ挙動 | 日本大学大学院 | 板橋 怜史 君 |
| ②不純物原子を含んだ Al-Mg 固溶体の高温延性 | 香川高等専門学校専攻科 | 川崎健太郎 君 |
| ③超微細粒アルミニウムにおける低温クリープ機構の調査 | 首都大学大学院 | 佐藤 義光 君 |
| ④スクイズダイカスト法で製造したアルミニウム合金 ADC12 の析出強化相の透過電子顕微鏡観察 | 東北大学大学院 | 佐々木翔平 君 |
| ⑤摩擦ロール表面処理されたチタンの組織形成に及ぼす温度勾配の影響 | 宇都宮大学大学院 | 岡安 郁弥 君 |

(8)平成 27 年度軽金属学会賞・功労賞・功績賞

金武直幸選考委員長のもと、3つの賞について審議の結果、学会賞は3名の候補者のうち1名を、功労賞は2名の候補者のうち該当者なしを、功績賞は2名の候補者について1名をそれぞれ下記のとおり選考した。表彰は平成27年5月開催の第128回春期大会にて行われる。

- 1)第18回軽金属学会賞 (株)UACJ 技術開発研究所 顧問 吉田 英雄 君
- 2)第17回軽金属学会功労賞 該当者なし
- 3)第13回軽金属功績賞 大阪府立大学 教授 井上 博史 君

[6] その他、本学会の目的を達成するために必要な事業(定款第4条1項第6号)

1. 人材育成

各支部において、講演会・ポスター発表など、若手人材育成に関わる事業を実施した。

2. 若手の会、女性会員の会

(1)若手の会

第26回会合：第126回春期大会第2日目(5月18日)に実施。参加者42名。話題提供と質疑応答。

第6回若手育成のための合同会合：第126回春期大会前日に実施。参加者15名。

第27回会合：第127回秋期大会第2日目(11月16日)に実施。参加者35名。話題提供と質疑応答。

第7回若手育成のための合同会合：第127回秋期大会前日に実施。参加者7名。

(2)女性会員の会

第16回会合：第126回春期大会第1日目(5月17日)に実施。参加者15名(女性13名、男性応援2名)。

第7回託児室設置：第126回春期大会中に実施。利用者なし。

第17回会合：第127回秋期大会第1日目(11月15日)に実施。参加者25名(女性21名、男性応援4名)

第7回託児室設置：第127回秋期大会中に実施。利用者1名。

3. 中堅企業R&D支援

二次加工業界の多くを占める中堅企業の技術開発を支援する「中堅企業R&D支援プログラム」の一環として、無料講演会、イブニングセミナー、相談会、研修会、出前講座などの行事を各支部で実施した。東北、東海、関西支部では優れた技術開発を実施した維持会員企業を表彰する支部企業奨励賞授与を行った。本部では当会紹介のパンフレット更新、WEB技術相談室開設、軽金属セミナーを録画したDVDの無料貸出などを実施し、会員サービス向上による会員基盤増強を図った。また、春秋講演大会においては、ユーザー企業参加促進策として企業交流会を実施し、日本アルミニウム協会賞受賞企業の講演発表、開発製品展示を行い、技術交流、人材交流の場を提供した。

4. 支部活動

(1) 北海道支部

計画	実施状況
1. 総会・役員会・運営委員会・支部会合 支部理事会、支部評議員会(1回) 2. 講演会等 ①アルミ製品製造の高度化技術講演会 (苫小牧) (③の人材育成事業でもある) ②支部講演大会 平成26年4月18日 (札幌) ③招待講演 1件を予定 3. 人材育成 4. 表彰関係 5. 維持会員加入勧誘活動 中小企業 R&D 支援プログラム活動 ・無料講習会を実施予定(内容は協議中) ・道総研工業試験場年次報告会「技術移転フォーラム -工業試験場成果発表会(H26.5.20 開催予定)」にて 学会パンフレットを配付予定。	1. 支部理事会、支部評議員会 平成26年12月開催 2. 講演会等 ①実施見送り、代わりに実習会、講演会を実施。 1)第2回ものづくり技術講習会 平成26年11月13-21日、11月26-28日 延べ参加人数9社20名 2)2014年度アルミニウム技術講習会 平成27年1月29日、参加人数24名 ②支部講演大会開催 平成26年4月18日 (札幌) ③招待講演 実施見送り 3. 人材育成 2. ①高度化技術講演会で実施 4. 表彰関係 軽金属希望の星賞3名推薦し2名受賞 5. 維持会員加入勧誘活動 ・無料講習会を2回実施 ・学会案内パンフレット配布 ・維持会員として(株)鈴木商店が入会
特記事項) ①実習会、講演会は「北海道アルミニウム利用技術研究会」の主催で実施 ・アルミニウム合金鋳造品品質評価の実習・指導 東京都立産業技術研究センター 佐藤健二 ・「 casting 高精度を有するアルミニウム合金ダイカスト技術の確立」 寿金属工業(株) 谷川昌司 ②支部講演大会は日本鋳造工学会北海道支部と共催で実施 ③無料講習会 ・平成26年8月19日「輸送機器用アルミニウム展伸材料開発の歴史と今後の動向」(株)UACJ 吉田英雄 23名参加 工業試験場に既存の「材料技術研究会」の合同開催として実施	

(2)東北支部

計画	実施状況
1. 総会・役員会・運営委員会・支部会合 役員会(8 月、2 月開催) 2. 講演会等 ①主催講演会(7 月、10 月開催) ②共催行事(8 月、12 月、他 1 回開催) 3. 人材育成 若手研究者講演会および学生の聴講 (12 月開催) 4. 表彰関係 ①高橋記念賞推薦 ②軽金属希望の星賞一次選考、推薦 ③軽金属希望の星東北支部賞支部選考、表彰 ④支部企業奨励賞推薦、表彰 5. 維持会員加入勧誘活動 公設試の活用	1. 役員会 平成 26 年 5 月 22 日、27 年 3 月 11 日開催 2. 講演会等 ①平成 26 年度軽金属学会東北支部特別講演会 ・第 1 回 平成 26 年 10 月 10 日(日本大学工学部) ・第 2 回 平成 27 年 3 月 11 日(東北大学金属材料研究所) ②共催講演 ・第 1 回 平成 26 年 10 月 6 日、7 日(金属材料研究所) 3. 人材育成 2 回の主催講演会で学生を聴講させた 4. 表彰関係 ①該当者なく推薦なし ②候補 3 名のうち 1 名を推薦し受賞 ③他 2 名を支部表彰 ④(株)小鯖船舶工業を表彰 5. 維持会員加入勧誘活動 平成 27 年 3 月 11 日 イブニングセミナー開催 (東北大学金属材料研究所)、パンフレット配布
特記事項) 2-①第 1 回「転位挙動に基づく Multiscale 結晶塑性シミュレーション-材料科学と固体力学の架け橋-」 慶応義塾大学 理工学部教授 志澤一之 2-①第 2 回「軽金属材料の摩擦攪拌接合」 東北大学工学研究科 粉川博之 「双晶界面移動及び双晶導入による高制振性 Mg 合金の開発」 東北大学金属材料研究所 小泉雄一郎 「金属チタン産業の動向について」 日本チタン協会 小池 磨 2-②東北大学金属材料研究所共同研究ワークショップおよび日本バイオマテリアル学会東北地域講演会「産学官連携による金属系バイオマテリアルの研究開発の最前線」講師 23 名 4-②東北大学大学院修士課程 叢 欣 君 4-③弘前大学大学院修士課程 上野功樹君 東北大学大学院修士課程 後藤優太君 5 イブニングセミナーは、2-①第 2 回と同時開催 「アルミニウムの表面処理-日本における陽極酸化処理の歴史と現状-」前嶋技術士事務所 前嶋正受	

(3)関東支部

計画	実施状況
1. 総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①支部運営委員会(4 回) ②支部総会 (場所：未定) 2. 講演会等 ①第 127 回秋期大会(東京工業大学)の実行援助 ②工場見学会 1 回 3. 人材育成 第 4 回若手研究者ポスター発表会および特別講演 4. 表彰関係 ①高橋記念賞推薦 ②軽金属学会功労賞推薦 ③軽金属希望の星賞一次選考、推薦	1. 運営委員会 ①平成 26 年 4 月 23 日、8 月 6 日、12 月 15 日、27 年 3 月 20 日開催。出席者はそれぞれ 18 名、17 名、11 名、15 名 ②平成 26 年 8 月 21 日開催 75 名参加 早稲田大学 2. 講演会等 ①実行委員会に参画。 ②工場見学会 平成 26 年 12 月 4 日 見学先：昭和アルミニウム缶(株)小山工場 (株)ケーヒン・サーマル・テクノロジー 昭和電工(株)小山事業所 参加者：31 名 3. 第 4 回若手研究者ポスター発表会および特別講演開催 日時：平成 26 年 8 月 21 日(総会時) 場所：早稲田大学 ポスター発表件数：28 件 4. 表彰関係 ①該当者なし ②該当者なし ③第 3 回運営委員会で審議。20 名応募があり、16 名推薦し、全員受賞決定

<p>5. 維持会員加入勧誘活動 中小企業 R&D 支援プログラム活動 (無料講習会、公設試の活用、R&D 支援、異業種見学会、表彰等) ①中小企業技術者セミナー(仮称) 開催</p>	<p>5. 維持会員勧誘活動 ①第3回軽量化研究会セミナー 平成26年8月20日 場所: 新都心ビジネス交流プラザ4階会議室 主催: 次世代自動車支援センター埼玉 (自動車産業部会・軽量化研究会) ②イブニングセミナー 平成26年11月21日 場所: 大田区産業プラザ PiO 6階C会議室 主催: 軽金属学会 関東支部 後援: 東京中小企業家同友会 大田支部 ③第2回軽量化技術研究会 平成27年1月27日 場所: 群馬産業技術センター(第1研修室) 対象: 群馬県次世代産業振興戦略会議の会員 主催: 群馬県次世代産業振興戦略会議、 群馬県立産業技術センター</p>
<p>特記事項) 3. 特別講演 ①「自動車の環境・エネルギー技術に関する将来展望」 早稲田大学 大聖泰弘 ②「摩擦攪拌接合(FSW)・摩擦攪拌点接合(FSJ)について ~主に航空機分野における最新動向~」 川崎重工業(株) 岡田豪生</p> <p>5. 維持会員勧誘活動 セミナー ①「展伸用アルミニウム合金と自動車部品への適用技術」 (株)神戸製鋼所 櫻井健夫 「内外における自動車へのマグネシウムの適用事例と課題」 日本マグネシウム協会 小原 久 「鉄道車両の軽量化に対するマグネシウム合金適用への期待」 鉄道総合技術研究所 森 久史 ②「自動車の軽量化とアルミニウム合金の適用」 (株)神戸製鋼所 櫻井健夫 「放電プラズマ焼結(SPS)法によるアルミニウム・チタン系材料の合成とSPS接合技術応用例」 (株)エヌジェーエス 鶴田正雄 ③「自動車における軽量化とアルミニウム合金の適用」 日産自動車(株) 神戸洋史 「アルミニウム合金と自動車部品への適用技術」 (株)神戸製鋼所 櫻井健夫</p>	

(4)北陸支部

計画	実施状況
<p>1. 総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①定例幹事会(2回)</p> <p>2. 講演会等 ①春期講演会 6-7月 ②秋期講演会 11月</p> <p>3. 人材育成 ①幹事研修会 10-11月 ②若手育成支援事業 8-9月</p> <p>4. 表彰関係 ①希望の星賞選考</p> <p>5. 維持会員加入勧誘活動 上記、幹事会、春秋講演会、幹事研修会、および下記の協賛事業にて実施予定。</p>	<p>1. 総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①定例幹事会(2回) 平成26年4月25日 平成26年10月10日</p> <p>2. 講演会等 ①春期講演会 平成26年6月25日 ②秋期講演会 平成26年11月28日</p> <p>3. 人材育成 ①幹事研修会 平成26年10月28日 ②若手育成支援事業 平成26年8月21日他</p> <p>4. 表彰関係 ①希望の星賞募集、2名推薦し2名受賞</p> <p>5. 維持会員加入勧誘活動 春期、秋期講演会で実施</p>
<p>特記事項) 講演会 ①春期 基調講演 富山大学経済学部 清家彰敏 技術講演 富山大学 砂田 聡 企業発表 (株)TAN-EI-SYA ②秋期 招待講演 JAXA 佐藤英一 立山マシン(株) 市川吉晴 企業発表 三協立山(株)、宮越工芸(株)</p> <p>協賛事業 ①日本熱処理技術協会中部支部(4月25日、石川県工業試験場) ②日本鉄鋼協会北陸信越支部 湯川記念講演会(7月25日、富山市) ③富山大学材料科学国際シンポジウム(ICPMAT)(9月15日~18日、ポーランド・AGH 科学技術大学) ④富山大学材料研究会(10月6日、富山大学、2月6日、富山大学) ⑤日本金属学会北陸信越支部本多光太郎記念講演会(12月6日、新潟工科大学) ⑥中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局が秋期大会企業交流会に出展し、北陸地域高機能新素材産業創出支援事業1件の企業マッチングがあった。</p>	

(5)東海支部

計画	実施状況
1. 総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①総会 ②評議会 ③理事会(3回) ④若手の会(軽進会)、女性会員の会 2. 講演会等 ①講演会(2回) ②研究部会(航空機材料部会, プレス加工部会) ③TECH Biz2014: 支部活動展示 3. 人材育成 若手研究者・技術者のための軽金属基礎講習会 4. 表彰関係 ①高橋記念賞推薦 ②軽金属希望の星賞一次選考、推薦 ③支部表彰の検討 5. 維持会員加入勧誘活動	1. 支部会合 ①平成 26 年 4 月 30 日(名古屋大学) ②同上 ③第 1 回 平成 26 年 7 月 9 日 第 2 回 平成 27 年 1 月 19 日 第 3 回 平成 27 年 3 月 16 日 ④軽進会 平成 26 年 9 月 24 日 TECH Biz EXPO 2014 展示会、第 2 回講演会(軽金属 イブニングセミナー)へ協力 2. 講演会 ①第 1 回 平成 26 年 4 月 30 日 81 名参加 第 2 回 平成 26 年 11 月 17 日 60 名参加 ②プレス加工部会第 7 回懇談会 平成 26 年 7 月 14 日 ③支部活動展示、セミナー 平成 26 年 10 月 22-24 日 3. 人材育成 若手研究者・技術者のための軽金属基礎講習会、「大型設備 基盤センターの見学」平成 26 年 11 月 7 日 4. 表彰関係 ①3 名推薦し 3 名受賞 ②3 名推薦し 3 名受賞 ③「支部企業奨励賞」東海支部運営細則の作成 (有)シバ金型を表彰 5. 維持会員加入勧誘活動 TECH Biz2014(10 月 22-24 日)およびイブニングセミナー (12 月 17 日)にて勧誘活動実施し、大同特殊鋼(株)、ユーアイ 精機(株)、(有)シバ金型の 3 社が入会。
特記事項) 第 1 回講演会 テーマ「輸送機器の軽量化に向けた軽量金属材料の展開」 ①「高速鉄道車両開発に向けた軽量金属材料への期待」 鉄道総合技術研究所 森 久史 ②「マグネシウム合金展伸材の室温加工性の改善」 産業技術総合研究所 千野靖正 ③「未来開拓プロジェクト“革新的新構造材料等技術開発(非鉄分野)”のご紹介」 産業技術総合研究所 小林慶三 第 2 回講演会 テーマ「中小企業の技術開発と軽金属分野における適用事例を学ぶ」 -軽金属分野における中小企業の技術開発- ①「我が社の研究開発事業とアルミニウムの深絞り成形事例」 (株)加藤製作所 加藤安行 ②「パイプの同時複数穴加工とアルミニウムパイプの穴加工技術の開発」 (有)シバ金型 芝世志造 ③「マグネシウム合金板のプレス加工における当社の研究開発」 ユーアイ精機(株) 水野一路 ④「対向液圧成形を軸とした絞り成形の技術開発」 (株)加藤製作所 加藤景司 -アルミニウム勉強会&軽金属なんでも相談会- ①「アルミニウム合金の基礎講座」 (株)UACJ 中西英貴 ②「軽金属なんでも相談会」 軽金属学会 支部理事 プレス加工部会第 7 回懇談会 テーマ「アルミニウム加工への casting CAE の適用」 ①「アルミニウム加工への解析事例紹介」 (株)UACJ 鳥飼 岳 ②「Deform による casting 加工シミュレーション実習」 (株)ヤマナカゴーキン 金 秀英 TECH Biz2014 技術講演会・セミナー テーマ「航空・宇宙産業を支える軽金属」 ①「航空機用軽金属材料の動向と課題」 大同大学 平 博仁 ②「航空機用アルミニウム合金開発の歴史と今後の展望」 (株)UACJ 吉田英雄 ③「航空機向けチタン合金とその casting 技術」 (株)神戸製鋼所 長田 卓 ④「航空宇宙機器における材料・加工技術」 三菱重工業(株) 高橋孝幸 若手研究者・技術者のための軽金属基礎講習会 ①「各種アルミニウム合金とその特徴(熱処理を含む)」 (株)UACJ 岩村信吾 ②「アルミニウム合金の表面処理」 三菱アルミニウム(株) 吉井 章 ③「アルミニウム合金および異種材の接合」 (株)神戸製鋼所 今村美速 ④「アルミニウム合金の塑性加工」 名古屋工業大学 北村憲彦 ⑤「軽金属材料表面分析技術の最近の進展」 名古屋工業大学 種村眞幸	

(6)関西支部

計画	実施状況
1. 総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①支部理事会(2回)	1. 支部理事会・幹事会 ・第 1 回 平成 26 年 4 月 10 日

<p>②支部幹事会(2回)</p> <p>2. 講演会等</p> <p>①支部シンポジウム</p> <p>3. 人材育成</p> <p>①関西軽金属サマースクール</p> <p>②若手研究者院生による研究発表会</p> <p>③大学院生フィールドワーク助成プログラム</p> <p>④出前講座(中堅企業支援セミナー) (軽金属需要喚起啓発ボランティアプログラム)</p> <p>4. 表彰関係</p> <p>①高橋記念賞推薦 ②軽金属功労賞推薦 ③軽金属希望の星賞一次選考、推薦 ④軽金属学会賞推薦 ⑤支部企業奨励賞</p> <p>5. 維持会員加入勧誘活動 出前講座にて学会紹介・学会パンフレット配付、企業訪問等</p>	<p>平成 28 年度春期大会、平成 26 年度支部事業などを議論。 ・第 2 回 平成 27 年 1 月 7 日 希望の星賞選考、2016 年度春期大会、平成 27 年度支部事業を議論。</p> <p>2. 支部シンポジウム 平成 26 年 9 月 17 日 (大阪大学) 講演 2 件 参加者 55 名</p> <p>3. 人材育成</p> <p>①平成 26 年 9 月 17 日 (大阪大学) 講義 2 件 参加約 55 名</p> <p>②平成 26 年 12 月 26 日 (関西大学) 特別講演、口頭発表 7 名、ポスターセッション 49 名 最優秀発表、優秀発表、ポスター賞など 17 名表彰 参加者 117 名</p> <p>③報告会 平成 26 年 12 月 26 日 ・大学と企業の組み合わせ 京都大学・(株)神戸製鋼所、大阪工業大学・昭和電工(株) 関西大学・東洋アルミニウム(株) ・9 月-12 月にフィールドワーク実施</p> <p>④平成 27 年 1 月 30 日 (八尾商工会議所) 講演 2 件と名刺交換会 参加約 14 名</p> <p>4. 表彰関係</p> <p>①推薦なし ②推薦なし ③5 名推薦し 5 名受賞 ④1 名推薦 ⑤(株)シマノを表彰</p> <p>5. 維持会員勧誘活動 出前講座にてパンフレットを配布。</p>
<p>特記事項)</p> <p>軽金属学会関西支部シンポジウム 講演</p> <p>①「ゴルフクラブ及びバットの構造と材料動向」 ミズノ(株) 石田和也</p> <p>②「アルミニウム合金の接合技術の紹介」 近畿車輛(株) 梅本政治郎</p> <p>関西軽金属サマースクール 講義</p> <p>①「原子論的手法に基づく LPSO 型 Mg 合金における化学的秩序構造の予測」 大阪大学 君塚 肇</p> <p>②「Mg 基シクロ型 LPSO 相の塑性変形機構、これを利用した Mg 合金の強化」 大阪大学 萩原幸司</p> <p>若手研究者院生による研究発表会 特別講演</p> <p>①「高温構造用金属間化合物の研究に魅せられて」 大阪府立大学 高杉隆幸</p> <p>出前講座(中堅企業支援セミナー) 講演</p> <p>①「アルミニウム合金に関する材料技術の基礎と応用」 兵庫県立大学 山本厚之</p> <p>②「アルミニウム材料の製品ビジネス事例と将来展望」 日鉄住金テクノロジー(株) 福井 清</p>	

(7)中国四国支部

計画	実施状況
<p>1. 総会・役員会・運営委員会・支部会合 役員会</p> <p>2. 講演会等</p> <p>①第 6 回支部講演大会(島根大学)</p> <p>②研究会(2 回)</p> <p>3. 人材育成 若手フォーラム</p> <p>4. 表彰関係</p> <p>①支部賞(奨励賞、優秀講演賞、研究開発奨励賞)授与</p> <p>②軽金属希望の星賞</p> <p>5. 維持会員加入勧誘活動 岡山県工業技術センターの村上浩二氏を中心に、中小企業に対する講習会等を開催。</p>	<p>1. 支部会合 第 1 回支部役員会 平成 26 年 6 月 28 日 (島根大学)</p> <p>2. 講演会等</p> <p>①第 6 回 平成 26 年 6 月 28 日開催 20 件講演、40 名参加</p> <p>②第 1 回 平成 26 年 6 月 18 日 (広島大学) 3 件、40 名 第 2 回 平成 26 年 10 月 7 日 (鳥取大学) 4 件、30 名</p> <p>3. 若手フォーラム 平成 26 年 12 月 10 日</p> <p>4. 支部長表彰</p> <p>①奨励賞 14 件 平成 27 年 3 月 5 日 優秀講演賞 7 名、研究開発奨励賞 5 名、技術賞 1 名 平成 26 年 7 月 6 日</p> <p>②軽金属希望の星賞 1 名推薦し受賞</p> <p>5. 維持会員勧誘活動 平成 27 年 2 月 16-27 日の 10 日間で実施。岡山県工業技術センターの鉱工業実務研修・設備使用制度を利用し、軽金属に関連する分野の技術者 5 名が、前処理・評価・解析機器の使用方法を習得した。</p>

特記事項)

(8)九州支部

計画	実施状況
1. 総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①役員会(2回) ②例会(2回) 2. 講演会等 合同学術講演会共催 3. 人材育成 4. 表彰関係 ①高橋記念賞推薦 ②軽金属希望の星賞 ③軽金属学会功労賞 5. 維持会員加入勧誘活動	1. 役員会・例会 ・第1回 平成26年8月1日 (博多) ・第2回 平成27年1月30日 (熊本大学) 2. 講演会等 2回の例会で実施 合同学術講演会 平成26年6月7日 (九州大学) 3. 人材育成 若手ポスター発表会 平成26年6月7日 4. 表彰関係 ①推薦なし ②3名推薦し3名受賞 ③推薦なし 5. 維持会員加入勧誘活動 ①第1回技術者育成セミナー 平成26年5月23日 日本マグネシウム協会九州支部と共催 ②最新の軟X線分光法による化学結合状態分析について情報提供 平成27年1月30日 高性能Mg合金創成加工研究会と共催
特記事項)	
1)第1回例会講演会 「日立金属における高品位ダイカスト工法の実用化」 「高い異相界面マッチングを有する異質核によるアルミニウム casting 材の結晶粒微細化」 2)第2回例会講演会 「Mg-Li-Al系合金の研究開発」 「Mg-Li-Zn合金の製品化に向けた押出技術開発」 「Mg-Li合金の耐食性に及ぼす各種因子の影響」 「電子顕微鏡によるMg及びLi検出技術・新開発軟X線分光法などによる電顕の化学結合状態分析」	日立金属(株) 金内良夫 名古屋工業大学 渡辺義見 (株)三徳 後藤崇之 不二ライトメタル(株) 島崎英樹 関西大学 森重大樹 日本電子(株) 高橋秀之

II. 処務の概況

[1] 役員等に関する事項

1. 役員

職名	氏名	常勤 非常勤	就任年月日 (最初の就任の時)	重任年月日 (現在の任期の 開始時)	報酬	担当 * 委員長	現職名
代表理事 会長	金武直幸	非常勤	平成 25 年 5 月 18 日		なし	組織 *	名古屋大学教授
代表理事 副会長	熊井真次	同上	平成 23 年 5 月 21 日	平成 25 年 5 月 18 日	同上	総合計画 * 組織	東京工業大学教授
同上	相浦 直	同上	平成 21 年 5 月 22 日	平成 25 年 5 月 18 日	同上	総合計画 組織 国際交流	(株)神戸製鋼所担当部長
理事	伊藤吾朗	同上	平成 23 年 5 月 21 日	平成 25 年 5 月 18 日	同上	企画	茨城大学教授
同上	興戸正純	同上	平成 25 年 5 月 18 日		同上	支部	名古屋大学教授
同上	鎌土重晴	同上	平成 25 年 5 月 18 日		同上	研究	長岡技術科学大学教授
同上	久保田正広	同上	平成 25 年 5 月 18 日		同上	国際交流	日本大学教授
同上	佐藤英一	同上	平成 25 年 5 月 18 日		同上	編集 *	宇宙航空研究開発機構教授
同上	佐々木 元	同上	平成 25 年 5 月 18 日		同上	大会運営	広島大学教授
同上	高橋英徳	同上	平成 25 年 5 月 18 日		同上	支部 *	北海道総合研究機構研究主幹
同上	戸田裕之	同上	平成 23 年 5 月 21 日	平成 25 年 5 月 18 日	同上	研究	九州大学教授
同上	高山善匡	同上	平成 23 年 5 月 21 日	平成 25 年 5 月 18 日	同上	総務	宇都宮大学教授
同上	中島英治	同上	平成 23 年 5 月 21 日	平成 25 年 5 月 18 日	同上	参与会	九州大学教授
同上	成島尚之	同上	平成 23 年 5 月 21 日	平成 25 年 5 月 18 日	同上	編集	東北大学教授
同上	羽賀俊雄	同上	平成 25 年 5 月 18 日		同上	総務	大阪工業大学教授
同上	松田健二	同上	平成 23 年 5 月 21 日	平成 25 年 5 月 18 日	同上	大会運営 *	富山大学教授
同上	山本厚之	同上	平成 23 年 5 月 21 日	平成 25 年 5 月 18 日	同上	参与会	兵庫県立大学教授
同上	阿見秀一	同上	平成 24 年 5 月 19 日	平成 25 年 5 月 18 日	同上	大会運営	三協立山(株)取締役執行役員
同上	土田孝之	同上	平成 25 年 5 月 18 日		同上	国際交流 *	日本軽金属(株)執行役員
同上	神戸洋史	同上	平成 23 年 5 月 21 日	平成 25 年 5 月 18 日	同上	企画 *	日産自動車(株) エキスパートリーダー
同上	栃木雅晴	同上	平成 23 年 5 月 21 日	平成 25 年 5 月 18 日	同上	企画	昭和電工(株) コーポレートフ ェロー小山事業所長
同上	村松俊樹	同上	平成 23 年 5 月 21 日	平成 25 年 5 月 18 日	同上	総務 *	(株)UACJ 技術開発研究所 上席主幹
同上	吉田英雄	同上	平成 19 年 5 月 11 日	平成 25 年 5 月 18 日	同上	研究 * 編集	(株)UACJ 顧問
同上	渡部 晶	同上	平成 25 年 5 月 18 日		同上	参与会 *	三菱アルミニウム(株) 執行役員
監事	本保元次郎	同上	平成 25 年 5 月 18 日		同上	監事	千葉工業大学教授
同上	福井康司	同上	平成 25 年 5 月 18 日		同上	同上	東洋アルミニウム(株) 取締役常務執行役員

[2] 職員に関する事項

職名	氏名	常勤・非常勤	採用年月日	担当事務	備考
事務局長	石川和徳	常勤	平成 25 年 1 月 1 日	全般	平成 25 年 6 月 1 日就任
職員	前田その美	常勤	平成 8 年 4 月 1 日	庶務	
職員	木村明子	常勤	平成 8 年 4 月 1 日	編集	
職員	高野正明	非常勤	平成 16 年 4 月 1 日	経理	

[3] 会議等に関する事項

1. 総会

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
定時総会	26年5月17日	1. 平成25年度事業報告に関する件(報告) 2. 平成25年度決算報告に関する件(審議) 3. 平成26年度事業計画の件(報告) 4. 平成26年度収支予算に関する件(報告) 5. 特別維持委員会会費変更に関する件(審議)	1. 全員異議なく原案通り確認。 2. 全員異議なく原案通り承認可決。 3. 全員異議なく原案通り確認。 4. 全員異議なく原案通り確認。 5. 全員異議なく原案通り承認可決。

2. 理事会(審議事項のみ記載)

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
第24回	26年4月28日	1. 平成26年度定時総会に関する件 ①平成25年度事業報告に関する件 ②平成25年度決算報告に関する件 2. 規程類の改定に関する件 3. 会員異動に関する件 4. 技術参与委嘱に関する件 5. 常設委員会委員変更に関する件 6. ISIJ/JABEE委員会へのオブザーバー参加に関する件	1. 一部修正し全員異議なく承認可決。 2. 維持会員規程、倫理規程、表彰規程改定を一部修正し全員異議なく承認可決。 3. 原案のとおり全員異議なく承認可決。 4. 浅見重則氏を全員異議なく承認可決。 5. 原案のとおり全員異議なく承認可決。 6. 松田健二理事に代理参加要請することで全員異議なく承認可決。
第25回	26年6月24日	1. 選考委員会委員選任に関する件 2. 第128回春期大会実行委員会委員(案)および予算(案)に関する件 3. 規程類の改定に関する件 4. 会員異動に関する件 5. 理事会オブザーバー参加に関する件 6. 常設委員会委員変更に関する件	1. 原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 原案の通り全員異議なく承認可決。 3. 著作権規程、表彰規程改定を一部修正することで全員異議なく承認可決。 4. 原案の通り全員異議なく承認可決。 5. 原案の通り全員異議なく承認可決。 6. 原案の通り全員異議なく承認可決。
第26回	26年9月30日	1. 軽金属論文賞・論文新人賞、小山田記念賞、高橋記念賞、躍進賞、奨励賞、女性未来賞選考に関する件 2. 会員異動に関する件 3. 常設・選考委員会委員変更に関する件	1. 原案の通り全員異議なく承認可決。高橋記念賞の受賞者資格の見直し要否を検討することとした。 2. 原案のとおり全員異議なく承認可決。2年会費滞納者への督促実施。 3. 原案のとおり全員異議なく承認可決。
第27回	26年10月31日	1. 学会賞・功労賞・功績賞選考委員に関する件 2. エネルギー利用技術作品コンテスト表彰に関する件 3. 会員異動に関する件	1. 監事を選考委員から除外し、原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 2件の表彰を原案の通り全員異議なく承認可決。 3. 原案のとおり全員異議なく承認可決。
第28回	27年1月26日	1. 軽金属希望の星賞選考に関する件 2. 第129回秋期大会実行委員会委員構成(案)および予算書(案)に関する件 3. 研究部会新設・延長の件 4. 支部長、参与変更に関する件 5. 各種規程類の改定に関する件 6. 会員異動に関する件	1. 原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 原案の通り全員異議なく承認可決。 3. 新設8件、延長1件を原案の通り全員異議なく承認可決。 4. 原案のとおり全員異議なく承認可決。 5. 改定案3件を原案の通り全員異議なく承認可決。 6. 原案の通り全員異議なく承認可決。
第29回	27年2月23日	1. 平成27・28年度役員候補に関する件 2. 第18回軽金属学会賞に関する件 3. 第17回軽金属学会功労賞に関する件 4. 第13回軽金属功績賞に関する件 5. H27年度特別維持委員会会費に関する件 6. 各種規程類の改定に関する件 7. 支部長交代・会員異動に関する件 8. 一般社団法人軽金属学会平成27年度定時総会開催に関する件	1. 原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 原案の通り全員異議なく承認可決。 3. 該当なし。 4. 原案の通り全員異議なく承認可決。 5. 原案の通り全員異議なく承認可決。 6. 選考委員会委員2年任期を確認。 7. 原案の通り全員異議なく承認可決。 8. 原案の通り全員異議なく承認可決。

第30回	27年3月23日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成27年度事業計画に関する件 2. 平成27年度収支予算に関する件 3. 平成27・28年度理事に関する件 4. 名誉会員推薦に関する件 5. 永年会員推薦に関する件 6. 研究部会新設に関する件 7. 会員異動、常設委員会委員変更に関する件 8. 規程類の改定に関する件 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 原案の通り全員異議なく承認可決。 3. 原案の通り全員異議なく承認可決。 4. 修正案の通り全員異議なく承認可決。 5. 原案の通り全員異議なく承認可決。 6. 新設5部会を全員異議なく承認可決。 7. 原案の通り全員異議なく承認可決。 8. 軽金属希望の星賞規程、推薦書、謝金規程改定を全員異議なく承認可決。
------	----------	---	---

3. 常設委員会

(1)総合計画委員会

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
維持会員増強WG第4回	26年4月22日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 支援活動進捗フォロー 2. 支部活動計画フォロー 	<ol style="list-style-type: none"> 1. HP会告、WEB技術相談室マニュアル、関連規程作成、支援助成金申請書など準備状況確認。5月中旬相談室開設。 2. 総合計画委員会小委員会で年3回の頻度で支部活動のフォロー実施決定。
第6回	26年4月28日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中小企業R&D支援活動について 2. 常設委員会平成25年度活動まとめと26年度活動計画について 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 5月開始に向けて、維持会員相談室運営方法を確認した。 2. 会長要望事項に関する各常設委員会の活動、連携状況を確認した。
第7回	26年6月28日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中堅企業R&D支援活動状況報告 2. 常設委員会企業委員見直し 3. 金武会長検討依頼事項フォロー 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各支部長より活動報告。 2. 各常設委員会でユーザー企業の次期委員候補を検討する。 3. 総務、大会運営委員会検討事項を確認した。
第8回	26年9月30日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会長要請事項対応 <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成 ・編集関係 ・研究関係 ・大会関係 2. 常設委員会企業委員追加 3. 維持会員増強について 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各常設委員会から対応状況報告。 <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー、シンポジウム開催数増加。オープンキャンパス利用を検討。 ・論文掲載数、ジャンル増加予定。 ・部会HP紹介。次期研究部会立上げ準備中。 ・企業交流会、講演分類見直し。 2. 再度、追加検討を依頼。 3. 会誌に活動紹介。支部無料講習会開催。維持会員6社増加。
維持会員増強WG第5回	26年10月16日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 支援活動進捗フォロー 2. 支部支援活動フォロー 	<ol style="list-style-type: none"> 1. WEB技術相談室利用なし、相談員登録12名、セミナーDVD貸出3社、維持会員入会7社、支援プログラム紹介を会誌10月号掲載、春秋大会での企業交流会開催など進捗状況報告。春期大会時の企業交流会イベントを支部に検討要請。 2. 支部での無料講習会8件開催、支部活動報告を会誌掲載。
第9回	26年10月31日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 支部活動中間報告(中堅企業支援活動状況) 2. 常設委員会へのユーザー企業追加 3. 他学会連携(講演大会協賛:会員価格参加) 4. H27年度支部費配賦案 5. 中間決算報告 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各支部長から活動報告。 2. 企画、総務委員会案報告。 3. 大会運営委員長報告。協賛承認。 4. 配賦案承認。 5. 決算内容確認。今後、理事会報告。
維持会員増強WG第6回	27年2月23日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中堅企業支援活動進捗報告 2. 平成27年度の活動計画 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本部、支部活動内容を確認し、改善策を協議。 2. 来期もWG活動、支部助成金200万円を継続。
第10回	27年2月23日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成26年度決算予測および平成27年度予算案について 2. 中堅企業R&D支援活動状況報告 3. 常設委員会の活動まとめと次期引継事項作成依頼 4. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度特別維持会員会費について ・支部長交代について 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 原案のとおり確認。 2. 活動状況を確認。来期も継続決定。 3. 3月末提出、4月の委員会で報告予定。 4. 原案のとおり確認。

第 11 回	27 年 3 月 23 日	1. 平成 27 年度予算案について 2. 支部平成 26 年度活動報告と平成 27 年度活動計画 3. 常設委員会連携活動	1. 原案のとおり確認。 2. 原案のとおり確認。 3. 総務、企画、編集委員会の人材育成事業、研究成果情報発信など連携確認。
--------	---------------	--	---

(2)総務委員会

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
第 256 回	26 年 6 月 3 日	1. 表彰者の懇親会招待について 2. 著作権規程について 3. 論文賞推薦委員会運営細則改定について 4. 研究部会運営細則改定 5. ポスター発表賞の再受賞制限 6. 常設委員会委員構成について	1. 無料招待を決定。表彰規程改定。 2. 編集委員会案を承認。理事会上申。 3. 新人賞は会員であることを要件追加。 4. 研究部会の報告会の位置付け明確化。 5. 受賞 1 回限りに制限して運営。 6. 理事会答申案を承認。
第 257 回	26 年 8 月 29 日	1. 規程改定 2. 今後の検討課題 3. 維持会員拡大 WG 要請対応 4. 第 127 回秋期大会懇親会のアルミ缶ビール代寄付のお願い	1. 論文賞選考委員会運営細則、著作物利用ガイドライン改定。 2. 人材育成事業、HP 更新を計画。 3. 本年度検討事項まとめ。 4. 軽圧 5 社及び三協立山への従来同様の寄付の依頼を承認。
第 258 回	26 年 11 月 12 日	1. 規程改定 2. 人材育成事業検討 3. 軽金属希望の星賞選考予定	1. 大会規程(優遇策)、経理規程(中間決算報告)、選考委員会規程(2 年任期)改定を検討。 2. 企画委員会との合同 WG 発足。 3. 支部推薦枠、2 次選考(1/15)日程確認。
第 259 回	27 年 1 月 15 日	1. 規程改定 2. 人材育成事業検討 3. 希望の星賞 2 次選考	1. 規程 5 件、細則 2 件を承認。 2. 合同 WG メンバー決定。オープンキャンパス提供サンプルリスト作成。 3. 34 名中 33 名を選考。1 名は資格調査。
第 1 回 人材育成 WG	27 年 2 月 24 日	1. 人材育成事業検討	1. オープンキャンパスへのサンプル提供仕組み作り、中高教員の支部工場見学会勧誘、エネコン主催の日本産業技術教育学会とのコラボなど検討。
第 260 回	27 年 2 月 24 日	1. 規程改定 2. 人材育成事業検討 3. 第 128 回春期大会懇親会のアルミ缶ビール代寄付のお願い 4. 平成 27 年度特別維持会員会費請求 5. 永年会員推薦 6. 名誉会員推薦	1. 規程 2 件、細則 1 件を承認。 2. 中高生教員の工場見学勧誘等計画。 3. 軽圧 5 社及び三協立山への従来同様の寄付の依頼を承認。 4. 理事会決定に基づき、4 月請求。 5. 候補者 7 名推薦を決定。 6. 候補者 3 名の推薦をメール審議。

(3)企画委員会

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
第 6 回	26 年 6 月 11 日	1. 新規シンポジウム開催について 2. セミナー開催について 3. 平成 26 年度軽金属基礎技術講座について 4. セミナー録画 DVD 使用方法 5. OB 会員への講師・相談員委嘱	1. 陽極酸化、3D プリント技術、次世代自動車競合材料、マグネシウムについて、検討継続 2. 入門編 2 回開催後、来春に中級編(時効析出)を計画。 3. 講師と資料作成・講演方法協議 4. 維持会員への貸出開始決定。 5. 委嘱伺い書式を修正し、打診開始。
第 7 回	26 年 8 月 27 日	1. セミナー実施報告・今後の計画について 2. 新規シンポジウム計画について 3. 平成 26 年度軽金属基礎講座準備状況 4. セミナー新規 DVD 録画について 5. その他	1. 入門編 1 回目の開催報告。入門編 2 回目の 12 月 5 日開催決定。中級、応用編開催スケジュール検討。 2. 1 月 23 日「陽極酸化の最前線」、6 月 5 日「次世代自動車関連」、7 月 3 日「分析関係後編」開催決定。 3. 36 名受講。テキスト、質問票、アンケート、名札等準備完了。 4. 必要性を再検討。 5. 講師・相談員 11 名登録。セミナー DVD 貸出 3 社、「組織と性質」USB 販売 23 本。

第 8 回	26 年 10 月 7 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 26 年度軽金属基礎講座開催報告 2. 93 回シンポジウム案(陽極酸化) 3. 94 回シンポジウム案(自動車) 4. 95 回シンポジウム案(分析) 5. セミナー開催スケジュール 6. 企画委員追加 7. 「組織と性質」USB 販売状況 8. 人材育成事業について 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 収支、アンケート結果報告。 2. 会告案報告。講師一部未定。 3. 講師選定中。 4. 講師、テキスト内容確定。 5. 入門・中級・応用編の全体スケジュール案検討。次回報告。 6. 船舶、車両、航空機関連委員検討。 7. 39 本販売。 8. 人材育成事業案作成予定。
第 9 回	26 年 12 月 3 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. シンポジウム開催 2. セミナー開催スケジュール・中級編 3. 基礎講座テキスト追加 4. セミナー録画 DVD の学側貸出 5. 人材育成事業について 6. 企画委員メンバー追加 7. 化学プロセス部会報告会 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 93 回(陽極酸化)2/10 開催、94 回(自動車)6/5 開催、95 回(分析)7/3 開催会誌会告掲載準備。 2. セミナー全体スケジュール紹介、中級編内容確定。 3. 編集委員会企画の連載講座「入門製造工程」Q&A 利用を編集委員会と合同 WG で検討。 4. 貸出承認し、申請書、アンケート準備。 5. 総務委員会と合同 WG で検討。 6. 事務局案を承認。 7. 事務局より概要報告。
第 10 回	27 年 2 月 3 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. シンポジウム開催 2. シンポジウムテキスト、執筆料規程 3. セミナー 4. 基礎講座テキスト 5. セミナー録画 DVD の学側貸出 6. 人材育成 WG 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 96 回(鉄道車両)検討 2. 概要 1 枚、ppt 資料決定。謝金規程改定。 3. 関西入門(7/17)、関東中級(7/21)決定。平成 28 年度開催計画作成。 4. 編集幹事会への要請まとめ 5. 使用許諾伺い後、貸出開始。 6. 総務委員会との WG 参加メンバー決定

(4)編集委員会

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
第 577 回 幹事会	26 年 4 月 14 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 軽金属 3～5 月号の進捗状況報告 2. 査読状況報告・確認 3. 軽金属 6 月号掲載内容報告・確認 4. 軽金属誌活性化状況報告 <ol style="list-style-type: none"> 1)著作権・規程 G 報告 2)会報 G 報告 3)連載講座 G 報告 4)特集号 G 報告 5)その他 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 進捗状況を確認した。 2. 査読状況を確認した。 3. 掲載内容を確認した。 4. 各 G 検討結果報告。 <ol style="list-style-type: none"> 1)著作権規程骨子整理。細則に問合せ対応事例明記を決定。 2)解説記事内容を検討。 3)生産技術に関する入門編連載決定。 4)平成 27 年春特集号内容決定。 5)編集幹事が担当となり、年間展望を 8 月号に掲載決定。合金表記方法見直し。掲載までの処理期間短縮化を議論。過去データを調査し改善状況把握することとした。
第 578 回 幹事会	26 年 5 月 13 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 軽金属 4～6 月号の進捗状況報告 2. 査読状況報告・確認 3. 軽金属 7 月号掲載内容報告・確認 4. 軽金属誌活性化状況報告 <ol style="list-style-type: none"> 1)著作権・規程 G 報告 2)会報 G 報告 3)連載講座 G 報告 4)特集号 G 報告 5)その他 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 進捗状況を確認した。 2. 査読状況を確認した。 3. 掲載内容を確認した。 4. 各 G 検討結果報告。 <ol style="list-style-type: none"> 1)著作権規程、著作権利用ガイドライン承認。総務委員会へ提案決定。 2)解説記事内容を検討。 3)生産技術に関する入門編の講師、原稿レイアウト案次回決定。 4)平成 27 年春・秋特集号内容決定。 5)年間レビュー実施案決定。 <ul style="list-style-type: none"> ・合金表記方法決定。 ・掲載までの処理期間短縮化実績報告。査読回数減少策決定。
第 1 回 編集委員会	26 年 5 月 18 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 26 年度の方針 2. 「軽金属」7 月号「関東支部編集」特集の報告 3. 「軽金属」11 月号「3D/4D イメージング応用 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会誌、幹事会改善方針を確認した。 2. 内容を確認した。 3. 内容を確認した。

		<p>技術の最前線」特集の状況</p> <p>4. 「Materials Transactions」 「先端材料の結晶方位分布と関連特性 IV」 特集の状況</p> <p>5. 新規記事「年間展望」</p> <p>6. 著作権規程・倫理規程等</p>	<p>4. 内容を確認。</p> <p>5. 内容を確認した。</p> <p>6. 規程案を確認した。</p>
第 579 回 幹事会	26 年 7 月 16 日	<p>1. 軽金属 5～8 月号の進捗状況報告</p> <p>2. 査読状況報告・確認</p> <p>3. 軽金属 9 月号掲載内容報告・確認</p> <p>4. 軽金属誌活性化状況報告</p> <p>1) 著作権・規程 G 報告</p> <p>2) 会報 G 報告</p> <p>3) 特集号 G 報告</p>	<p>1. 進捗状況を確認した。</p> <p>2. 査読状況を確認した。</p> <p>3. 掲載内容を確認した。</p> <p>4. 各 G 検討結果報告。</p> <p>1) 著作権規程、著作権利用ガイドライン一部修正。多重投稿防止検討開始。執筆要領(合金表記)見直し。</p> <p>2) アルミ協会特許記事掲載決定。</p> <p>3) 平成 27 年春特集号特任編集委員委嘱状、原稿募集会告承認。</p>
第 580 回 幹事会	26 年 9 月 18 日	<p>1. 軽金属 8～10 月号の進捗状況報告</p> <p>2. 査読状況報告・確認</p> <p>3. 軽金属 11 月号掲載内容報告・確認</p> <p>4. 軽金属誌活性化状況報告</p> <p>1) 著作権・規程 G 報告</p> <p>2) 会報 G 報告</p> <p>3) 特集号 G 報告</p> <p>4) 連載講座 G 報告</p> <p>5) その他</p>	<p>1. 進捗状況を確認した。</p> <p>2. 査読状況を確認した。</p> <p>3. 掲載内容を確認した。</p> <p>4. 各 G 検討結果報告。</p> <p>1) 不正行為規程、著作権利用オリジナルティガイドラインを作成予定。執筆要領(合金表記)見直し。</p> <p>2) 「超々ジュラルミン」連載 8 月開始。</p> <p>3) 特集号(5 月、11 月)進捗状況確認。</p> <p>4) 「入門 軽金属の生産技術」の全体構成決定。押出編事例次回作成。</p> <p>5) 技術倫理アンケート結果、学会誌掲載記事数推移、会誌刊行早期化(毎月 15 日目標)報告。</p>
第 581 回 幹事会	26 年 11 月 4 日	<p>1. 軽金属 10～12 月号の進捗状況報告</p> <p>2. 査読状況報告・確認</p> <p>3. 軽金属 1 月号掲載内容報告・確認</p> <p>4. 軽金属誌活性化状況報告</p> <p>1) 著作権・規程 G 報告</p> <p>2) 会報 G 報告</p> <p>3) 特集号 G 報告</p> <p>4) 連載講座 G 報告</p> <p>5) その他</p>	<p>1. 進捗状況を確認した。</p> <p>2. 査読状況を確認した。</p> <p>3. 掲載内容を確認した。</p> <p>4. 各 G 検討結果報告。</p> <p>1) 論文オリジナルティ(多重投稿)判断基準議論。投稿規程改定も検討。</p> <p>2) 「航空産業を支える軽金属」9 月掲載。「アルミニウムの技術史」連載 4 月開始。</p> <p>3) 特集号: 平成 27 年 11 月成形性評価シミュレーション部会特集募集会告、平成 28 年 5 月マグネシウム関係特集計画。</p> <p>4) 「入門 軽金属の生産技術」連載 10 月開始。押出事例作成、執筆、Q&A リスト提出依頼。</p> <p>5) 日本アルミニウム協会研究助成対象者への論文投稿勧誘決定。投稿無料化検討。解説の投稿掲載料を規定化検討。</p>
第 2 回 編集委員会	26 年 11 月 16 日	<p>1. 軽金属誌の現況</p> <p>2. 特集号の進捗報告</p> <p>・7 月号「関西支部編集」</p> <p>・11 月号「3D/4D イメージング応用技術の最前線」</p> <p>・5 月号「軽金属材料の塑性加工技術と数値シミュレーションの最前線」</p> <p>・11 月号「軽金属材料の成形シミュレーションの高精度化」</p> <p>・Materials Transactions「先端材料の結晶方位分布と関連特性 IV」</p> <p>3. 記事活性化</p>	<p>1. 投稿数、発刊予定、事業収支を確認した。</p> <p>2. 内容を確認した。</p> <p>3. 内容を確認した。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・年間展望 ・新連載「入門 アルミニウムの生産・利用技術」 4. 著作権規程・著作物の利用ガイドライン 	4. 内容を確認。
第 582 回 幹事会	27 年 1 月 13 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 軽金属 11～2 月号の進捗状況報告 2. 査読状況報告・確認 3. 軽金属 3 月号掲載内容報告・確認 4. 軽金属誌活性化状況報告 <ul style="list-style-type: none"> 1)著作権・規程 G 報告 2)会報 G 報告 3)特集号 G 報告 4)連載講座 G 報告 5)その他 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 進捗状況を確認した。 2. 査読状況を確認した。 3. 掲載内容を確認した。 4. 各 G 検討結果報告。 <ul style="list-style-type: none"> 1)純アルミニウム表記議論。投稿規程(原稿オリジナリティ規定追加)改定。 2)「アルミニウムの技術史」内容紹介、カサタニ小原様への解説依頼、今後の解説依頼先検討。 3)特集号：平成 28 年 5 月難燃マグネシウム関係計画。年間レビュー執筆、査読担当、支部特集編集要領決定。 4)企画委員会との合同打合せ(1/6)結果報告。WG ごとに執筆者、WG メンバー決定。先行 4WG で 3 月末原稿作成予定。 5)日本アルミニウム協会研究助成対象者への論文投稿勧誘決定。投稿無料化検討。解説の投稿掲載料を規定化検討。
第 583 回 幹事会	27 年 3 月 16 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 軽金属 2～4 月号の進捗状況報告 2. 査読状況報告・確認 3. 軽金属 5 月号掲載内容報告・確認 4. 軽金属誌活性化状況報告 <ul style="list-style-type: none"> 1)著作権・規程 G 報告 2)会報 G 報告 3)特集号 G 報告 4)連載講座 G 報告 5)その他 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 進捗状況を確認した。 2. 査読状況を確認した。 3. 掲載内容を確認した。 4. 各 G 検討結果報告。 <ul style="list-style-type: none"> 1)英語版転載許可申請、投稿規程(原稿オリジナリティ規定追加)総務委員会要望、倫理規程、Mater.Trans への投稿規程と執筆要項英語版作成を協議。 2)レノボ柳澤様への解説、最終講義、解説企画 3 件等の依頼。 3)特集号：平成 28 年 2 月水素分析、5 月難燃マグネシウム関係計画。濱崎特任編集委員の意見聴取。 4)企画委員会との合同 WG 進捗報告。先行 4WG メンバーで 6 月末原稿作成予定。 5)研究部会報告書と論文投稿の優先度、引継事項を協議。

(5)国際交流委員会

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
第 5 回	26 年 5 月 8 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. ALMA2014 について 2. ALMA HP コンテンツ見直しについて 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1st サーキュラ、会場、講師、予算案を確認。参加者確認後 2nd サーキュラでプログラム掲載。 2. 組織図、各国委員名確認。掲載可否を打診する。
第 6 回	26 年 7 月 30 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. ALMA2014 について 2. ALMA HP コンテンツ見直しについて 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2nd サーキュラ、講演者半数確定、記念品、当日役割分担、時間割り作成。概要・プロフィール依頼。 2. 組織図掲載
第 7 回	26 年 9 月 22 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. ALMA2014 について <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム ・招待講演者 ・アブストラクト・プロフィール ・開催案内 ・会場準備・役割分担 ・木製楯 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 準備状況を確認した。 <ul style="list-style-type: none"> ・Forum は 10 名講演 ・Meeting 参加者確認 ・未提出講演者に催促 ・HP 掲載 ・講演会場、昼食、懇親会会場準備 ・講演者所属・名前確認後作成

第 8 回	26 年 10 月 30 日	1. ALMA 準備状況最終確認	1. 中国参加者キャンセルのためプログラム等修正。
第 9 回	27 年 1 月 7 日	1. ALMA 開催結果、課題 ・Meeting 意見の対応 ・収支決算 ・開催報告記事(日本語・英語版) ・ALMA HP 改定 ・2016 年次回開催場所・日程 2. 台湾軽金属協会来日対応	1. 次回開催に向けた課題を議論した。 ・講演 10 件程度の Forum 継続 ・約 40 万円の支出、助成 25 万円 ・会誌、HP 掲載原稿承認 ・今回講演資料など HP にアップ ・水戸大会前日(金)に限らず、東京地区で開催予定。 2. 5/25-27 の 20 名来日に合わせて、国際交流委員会メンバーとの面談、企業見学を計画。

(6)大会運営委員会

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
第 5 回	26 年 7 月 28 日	1. 第 126 回春期大会の決算および反省点 2. 企業 WG 報告・討議 3. 運営 WG 報告・討議 4. 第 127 回秋期大会について 5. 第 128 回春期大会について 1) 開催計画概要 2) テーマセッション募集日程 6. 若手の会、女性会員の会の報告 7. 第 127 回大会プログラム編成について	1. 決算および反省点について報告。 2. 第 126 回春期大会企業交流会アンケート結果と反省事項確認。第 127 回秋期大会準備状況報告。 3. 大会運営マニュアル更新、講演分野見直し後の発表件数を確認。 4. 会告、地図、会場確認。 5. 大会実行委員会から報告。 1)大会開催計画を報告 2)テーマセッション募集日程確認 6. 両会からの報告を確認。若手の会合同講演会来春開催を承認。 7. プログラム、座長、ポスター審査員を決定。8会場、200件(テーマセッション6件含む)、ポスター40件、招待講演5件。
第 6 回	26 年 9 月 29 日	1. 企業 WG 報告・討議 ・127 回大会企業交流会準備状況 2. 運営 WG 報告・討議 3. 次期引継事項	1. 開催案内、参加依頼、概要集への掲載など完了。出展企業配置、アンケート、案内チラシ、飲み物コーナー具体案協議・決定。 2. マニュアル整理、講演分類のアンケート実施、企業座長候補リスト作成。 3. 春期大会での支部企画企業交流会、他学会との協賛による会員価格参加、概要集書式統一など議論。
第 7 回	27 年 1 月 23 日	1. 第 127 回秋期大会の決算および反省点 2. 第 128 回春期大会の開催計画 3. 第 129 回秋期大会について 1)開催計画概要、実行委員会名簿 2)テーマセッション募集日程 4. 企業 WG 報告・討議 1)企業交流会アンケート結果、改善策 2)企業交流会映像配信方法 5. 運営 WG 報告・討議 1)大会マニュアル 2)講演分野見直し 3)ポスター採点方法見直し 4)他学協会への協賛依頼 5)大会規程、若手の会規程改定 6. 若手の会、女性会員の会の報告 7. 第 128 回大会プログラム編成について	1. 決算および反省点について報告。 2. 資料に基づき報告、確認。 3. 大会実行委員会から報告。 1)資料に基づき報告、確認。 2)資料に基づき報告、確認。 4. 企業 WG から報告。 1)アンケート結果、改善案報告 2)春期大会でプロジェクト使用決定 5. 運営 WG から報告。 1)東工大分追加しまとめ依頼 2)アンケートによる意見聴取計画 3)第 3 位の採点追加 4)第 128 回から協賛開始 5)原案を承認 6. 両会からの報告を確認。 7. 新講演分類にてプログラム編成。座長、ポスター審査員案を決定。
第 8 回	27 年 3 月 27 日	1. 企業 WG 報告・討議 1)大会アンケート恒例化とフィードバック方法 2)企業交流会内容 3)第 128 回大会企業交流会準備状況、出展参加企業への詳細連絡 4)日本金属学会の企業説明会実施状況 2. 運営 WG 報告・討議	1. 企業交流会の内容に学生リクルート要素を追加する点に関し協議。企業交流会の位置付けを明確化し、春期、秋期大会時の企業製品・技術交流、企業説明会を計画。 2. 運営 WG から報告。

		1)大会運営マニュアル 2)講演分類見直し(アンケート実施案) 3)ポスター採点方法見直し(規程改定) 4)講演会スケジュールの検討 3. 引継事項 4. その他 1)第 129 回大会協賛依頼に伴う会告案早期確定 2)第 128 回大会託児室設置	1)今期中にまとめる。 2)案修正し春期大会アンケート実施。 3)総務委員会改定案を承認。 4)3 日開催案等々協議。 3. 委員長案を報告。 4. その他 1)実行委員会へ会告案提出依頼。 2)シッター業者との委託契約締結ができない場合の対応案を協議。
--	--	---	--

(7)研究委員会

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
第 5 回	26 年 6 月 25 日	1. 研究部会課題抽出 WG 報告 2. 会誌への研究部会紹介掲載について(5,6 月号掲載) 3. 研究部会運営細則、研究部会運営ガイドの改定 4. 研究部会平成 26 年度予算確認・事業中間報告書作成依頼	1. 9WG の進捗報告。次回 10/1。 2. 8 部会が掲載、最後のミュオン部会は 7 月か 8 月号掲載。 3. 成果報告会の形式追加、部会費用負担による開催を許容。 4. 平成 26 年度部会費収入、期末残高予算の確認。次回中間報告要請
第 6 回	26 年 10 月 1 日	1. 研究部会事業中間報告 2. 研究部会課題抽出 WG 報告	1. 各部会の状況を報告。 2. 各 WG の最終報告。鑄造、押出、トライボロジー、表面処理、接合、複合材、マグネシウム、チタンなど 4 月からの部会立上げ予定。
第 7 回	26 年 12 月 17 日	1. 課題抽出 WG 研究部会新設提案 2. その他新設部会提案 3. 部会延長申請 4. 化学プロセス部会報告会開催報告 5. 研究部会中間決算・H27 年度予算	1. 10WG から 6 件の提案承認。他 WG も次回提案予定。 2. 水素力学特性、超音波鑄造の 2 件提案承認。 3. 成形性評価シミュレーション部会の 1 年延長承認。 4. 部長から資料に基づき報告。 5. 事務局から資料に基づき報告。
第 8 回	27 年 3 月 2 日	1. 平成 26 年度部会事業報告(現行 9 部会) 2. 平成 27 年度新設部会提案 3. 研究部会平成 27 年度新設部会概要報告 4. 研究部会平成 26 年度決算見込みと平成 27 年度予算	1. 各部会の状況を報告。 2. 5 件の部会提案を承認。 3. 新 7 部会長から資料に基づき報告。 4. 事務局から資料に基づき報告。

(8)支部長会

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
第 1 回	26 年 5 月 18 日	1. 平成 25 年度支部収支報告書および平成 26 年度支部収支予算書および第 1 四半期決算資料送付 2. 今後の開催予定地 3. 高橋記念賞 4. 維持会員増強 5. 年間表彰スケジュール 6. 会誌支部特集 7. その他	1. 事務局より提示した資料確認。 2. 平成 28 年第 130 回春期大会までの開催日程、予定地を確認。 3. 選考委員案の確認依頼。 4. 維持会員 WEB 相談室運営マニュアル説明。5 月 19 日 HP オープン。 5. 事務局提示資料を確認。支部企業奨励賞予定確認。 6. 関西支部平成 27 年 7 月掲載を確認。 7. 中堅企業支援申請書、支部行事開催報告、会告方法を確認。
第 2 回	26 年 11 月 16 日	1. 平成 26 年度支部第 2 四半期決算 2. 平成 27 年度支部費配賦額 3. 維持会員増強 4. 高橋記念賞推薦 5. 今後の開催予定地 6. 軽金属希望の星賞 7. 年間表彰スケジュール	1. 事務局より提示した決算資料確認。 2. 配賦額承認。 3. 中小規模企業研究開発支援プロジェクト進捗報告。支部企業表彰楯賞状内容承認。 4. 推薦件数増加、資格審査要請 5. 平成 28 年第 131 回秋期大会までの開催日程、予定地確認。 6. 支部応募枠、応募日程確認。 7. 事務局提示資料を確認。

(9) 参与会

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
第 17 回	26 年 7 月 8 日	1. 見学会の実施 2. 講演会の実施 3. 委員会の開催	1. 三菱アルミニウム缶リサイクル見学。 2. アルミ缶リサイクル協会講演。
第 18 回	26 年 12 月 12 日	1. 見学会の実施 2. 講演会の実施 3. 委員会の開催	1. 総合車両製作所工場見学 2. 「鉄道車両構体の変遷について、車両ができるまで」講演

(10) 組織委員会

会議名	開催平成年月日	議事事項	会議の結果
平成 26 年度第 1 回	26 年 10 月 31 日	1. 平成 27・28 年度役員候補に関する件	1. 次期理事候補、監事候補案を協議。
平成 26 年度第 2 回	27 年 1 月 26 日	1. 平成 27・28 年度役員候補に関する件	1. 次期の役員候補および会長、副会長候補を選定、理事会に諮る。

[4] 許可、認可、承認、証明に関する事項

連絡年月日	議事事項	履行状況
なし	なし	なし

[5] 契約に関する事項

契約締結年月日	契約内容	契約先・委託者
平成 26 年 8 月 25 日	学術指導契約書：アルミニウム合金板材の組織形成予測部会で使用する結晶塑性解析プログラム使用方法の指導	学校法人同志社 同志社大学生命医科学部 仲町英治 教授

[6] 寄付金に関する事項 寄付金支出はなし

[7] 主務官庁からの連絡および報告事項

連絡年月日	議事事項	履行状況
平成 26 年 6 月 25 日	平成 25 年度公益目的支出計画実施報告書等の提出	内閣府に関係書類を電子提出
平成 26 年 8 月 27 日	修正可能書類通知書受領	内閣府修正要請事項を修正
平成 26 年 8 月 29 日	修正提出書の提出	修正書類を電子提出

[8] その他重要事項 特になし

[9] 会員動向

() 内は内数

	名誉会員	永年会員	個人会員				合計
			正会員	学生会員	外国人	合計	
平成 27 年 4 月 1 日	53	90	1,588	253	(9)	1,841	1,984
平成 26 年 4 月 1 日	53	84	1,625	241	(11)	1,866	2,003
差引増減	0	6	△37	12	(△2)	△25	△19

正会員の内訳

	大学・高専等	公的研究機関	企業等	その他	合計
平成 27 年 4 月 1 日	451	110	983	44	1,588
平成 26 年 4 月 1 日	453	98	1,028	46	1,625
差引増減	△2	12	△45	△2	△37

特別維持会員・維持会員・年間購読の内訳

	特別維持会員	維持会員	口数									年間購読
			10	8	6	5	4	3	2	1	合計	
平成 27 年 4 月 1 日	5	128	2	0	0	0	1	3	15	107	170	69
平成 26 年 4 月 1 日	5	123	2	0	0	0	1	3	16	101	166	65
差引増減	-	5	-	-	-	-	-	-	△1	6	4	4

[10] 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、附属明細書は作成していない。